



平成 24 年 4 月 4 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ポ イ ン ト
代 表 者 代表取締役会長兼社長 福田三千男
(コード番号 2685 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員管理本部長 松田 毅
(TEL: 03-3243-6011)

株式会社トリニティアーツとの経営統合に関する 基本合意書締結についてのお知らせ

当社は、平成 24 年 4 月 4 日開催の取締役会において、株式会社トリニティアーツ（本社：東京都千代田区、代表取締役 木村 治）（以下、「トリニティアーツ」）との間で、平成 25 年 10 月を目途とする両社の経営統合（以下、「本件統合」）に向けた基本合意書（以下、「基本合意書」）を締結することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本件統合の背景と目的

当社は、主にナチュラルテイストのファッションブランドを多数展開しております。また、トリニティアーツは、生活雑貨・衣料品・服飾雑貨等を扱うライフスタイル提案型の小売業であり、昨今の多様化する消費者ニーズを的確にとらえた商品展開により、独自のポジションを構築しております。

両社を取り巻く事業環境は、少子高齢化やライフスタイルの多様化、外資系企業の日本進出などにより大きく変化しており、お客様のニーズはますます多様化・高度化しております。また、グローバル化の一層の進展により、海外市場への展開やサプライチェーンの強化が経営上の重要課題となっております。

このような状況の中、当社は、国内外における展開を加速するとともに、従来のテイストや価格帯とは異なった新ブランドの展開や、雑貨の取り扱いを拡大するなど、新たなマーケットの開拓を積極的に進めてまいりました。

その一環として、当社は平成 22 年 9 月 30 日付で発表いたしました「株式会社トリニティアーツとの業務提携に関するお知らせ」のとおり、トリニティアーツとの間で業務提携契約を締結し、互いの事業の補完を図ることで、両社の事業並びに経営基盤の強化を進めると同時に、将来的な資本提携等も見据えて協議を進めてまいりました。

今般、両社は、本件統合により、両社が各々有する事業基盤及び企業文化を尊重することで市場における独自のポジションと成長力を維持しつつ、商品企画や店舗運営ノウハウ、サプライチェーン、情報システム、管理面等のシナジー効果を最大限に発揮することが可能になると判断し、本件統合に

関する基本合意書の締結に至りました。

本件統合によって、当社及びトリニティアーツ各々の事業基盤の拡大と高い競争力の確保を実現し、お客様に提供する付加価値を最大化するとともに、より社会に貢献しうる企業グループとして成長を続け、当社株主の皆様のご期待に応えてまいります。

2. 本件統合の要旨

(1) 本件統合の日程

平成 24 年 4 月 4 日	:	基本合意書締結に関する当社取締役会決議
平成 24 年 4 月 4 日	:	基本合意書締結
平成 25 年 4 月 (予定)	:	最終契約の締結
平成 25 年 5 月 (予定)	:	当社株主総会決議 (最終契約の承認)
平成 25 年 10 月 (予定)	:	本件統合期日 (効力発生日)

(2) 本件統合の方法

本件統合の方法につきましては、本件統合に際して問題となる税務・会計上の影響、法令上必要となる手続等を勘案の上、組織再編行為その他適切な方法により、当社及びトリニティアーツをそれぞれ独立した会社として存続させる持株会社体制へ移行する等、両社が本件統合によるシナジーを最も効果的に発揮しうる組織・運営を構築していくことができる手法を今後検討してまいります。なお、本件統合の検討は、本件統合に係る手続全般の公正性を確保するべく、当社及びトリニティアーツから独立した外部有識者や第三者委員会等からの意見等を踏まえながら慎重に進めていくことを予定しております。本件統合の方法につきましては、決定次第速やかにお知らせいたします。

3. 本件統合の相手先の概要

(1)	商号	株式会社トリニティアーツ	
(2)	所在地	東京都千代田区丸の内三丁目4番1号	
(3)	代表者	代表取締役 木村 治	
(4)	主な事業内容	生活雑貨、衣料品、服飾雑貨等の小売業	
(5)	資本金	30 百万円	
(6)	設立年月	昭和 57 年 5 月	
(7)	決算期	2 月末日	
(8)	従業員数	378 名（平成 24 年 2 月 29 日現在）	
(9)	株主	株式会社フクゾウ（97.04%出資）及びその他（2.96%出資）	
(10)	売上高	10,726 百万円（平成 23 年 2 月期）	
(11)	店舗数	140 店舗（平成 24 年 2 月 29 日現在）	
(12)	上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	店舗開発等の業務提携、トリニティアーツによる当社システムの一部利用、出向料の受取を行っております。なお、ハーディーガーディー事業を、トリニティアーツに譲渡する予定ですが、当期の当社連結業績への影響は軽微であります。
		関連当事者への該当状況	トリニティアーツの筆頭株主である株式会社フクゾウの議決権は、当社代表取締役会長兼社長である福田三千男の近親者が 100%を直接保有しており、トリニティアーツは当社の関連当事者に該当します。なお、株式会社フクゾウは当社の大株主（4.99%出資）であります（平成 24 年 2 月 29 日現在）。

4. 今後の見通し

当社及びトリニティアーツは、本件統合の方法及び本件統合後の事業組織・運営等について協議してまいります。また、今回の基本合意書の締結による当期の当社連結業績への影響は軽微であります。なお、本件統合に関する協議の進捗により、当社業績への影響が大きいと予想される場合は、必要に応じ、速やかに情報を開示いたします。

以上